

一般社団法人パーソナルサービス支援機構とは

〔ホームページは「PS支援機構」で検索〕

人や地域との「出会い」や「つながり」を大切に、不登校・苦登校の子どもたちの支援から、通信制高校生の学習支援、生きづらさを抱えていたり、就職に向けてなかなか一歩が踏み出せないでいる方たちの自立に向けたサポートを、寄り添いながら継続かつ段階的におこなっています。

代表 大倉一真 プロフィール

出身は京都市伏見区。リーマンショックのあおりを受けた企業の派遣切りによって、住居の無い失業者が多数生まれ、生活と就労を一体的に支援する制度設計が必要と、内閣府から事業委託を受け、複合的な課題に対する支援のコーディネイトのノウハウを作成。その後、その仕組みは生活困窮者自立支援法として制度施行をめざすことになり、厚労省の検討会議や行政職員向けの支援者研修の講師を務めた。これまで、生活困窮者やホームレス状態の方の生活および就労支援、学校臨床心理カウンセリング、通信制・定時制高校や少年鑑別所での支援など、20年間で約6000人の方を見てきた中で、より早い子どもの段階から関わることでできる仕組みを創り、家族全体を包括的に支えることが必要と考え、当機構を設立。

パネルディスカッション

「大隅地域における地域共生・共育・共働の社会とは」

パネリストのご紹介



藤原 奈美 氏
大隅くらし・しごと
サポートセンター
センター長

精神科病院、ホームレス支援団体・居住支援団体等で生活困窮者等の相談支援を経験し、現在は、大隅くらし・しごとサポートセンターのセンター長兼主任相談支援員として従事している。大崎町・東串良町・錦江町・南大隅町および肝付町にお住まいの方々に対し、日々の中で起こる様々な不安や困りごとを共に解決するべく、関係機関の協力を得ながら活動中。



井之上 宏幸 氏
鹿屋市街のにぎわいづくり
協議会 会長
有)井之上電器 代表

「鹿屋で知らない方はおられないのではないか」という地域密着型の街の電器屋さん。複数の商店街で構成する「鹿屋市街のにぎわいづくり協議会」では様々なイベントを企画し、地域住民の「鹿屋に住んでよかった」のために奮闘中。また、当機構の「しごとつなぐプロジェクト」おうえん団としてもご協力いただいています。他に、鹿屋商工会議所地域開発委員などでも活躍中。趣味、マラソン。



川島 康文 氏
株)大隅家守舎 代表
株)Katasudde 代表
株)プラスディー設計室 代表

2006年「プラスディー設計室」設立。2015年に民間まちづくり会社「大隅家守舎」を設立し「食と暮らしのマルクト」開催や中心市街地の活性化に従事。魅力的で人がつながる場をつくり、街の期待値を上げることを目指している。現在、ブルースタジオと大隅家守舎で設立した株式会社 Katasudde の代表として、鹿屋市立菅原小学校跡の廃校活用した観光拠点+宿泊施設「ユクサおおすみ海の学校」のプロジェクトにも取り組み中。



西岡 隆 氏
厚生労働省年金局
企業年金・個人年金課
基金数理室長・普及推進室長

1995年、大学で数学を学んだ後、数理職として旧厚生省に入省。公的年金の財政計算をはじめとして社会保障の将来見通しを作成し、制度改革議論に関わってきた。2009年、地方勤務を志願し、大分県臼杵市コミュニティ推進室長に着任。2年の勤務を経て厚労省に戻ったが、2013年、縁あって再度、臼杵市に赴任し、理事として、医療・福祉、地方創生、移住促進など持続可能な地域づくりに奮闘。

参加申込書

お名前 (ふりがな)		所属 (一般参加の方は、差し支えなければ職業をお書きください)
1		
2		
3		
ご連絡先	ご住所 〒	
	電話番号	

〔申込期限〕令和元年 10月 11日 (金)

*定員になり次第締め切らせていただきます。

〔お申込み方法〕必要事項を記入の上、FAXまたはメールにてお申込みください。

FAX : 0994-37-5639 E-Mail : info@kanoya-ps.com